

CT 造影検査時の注意事項

1. CT 造影検査について

CT 造影検査は、ヨード造影剤を腕の静脈から注入することで、病気についての情報量が増えてより正確な診断や治療に役立つ検査です。

造影検査では、検査 3 時間前から食事を控えていただきます。ただし、水やお茶などは飲んでいただいても構いません。

2. 造影剤の副作用

ヨード造影剤は、基本的に安全な薬剤とされています。しかしながら、他の薬剤と同様で次のような副作用が起きることが報告されています。

○軽い副作用：吐き気、動悸、かゆみ、頭痛、くしゃみなど

このような症状は、比較的早期に症状が治まります。(20 人に 1 人：5.0%以下)

○重い副作用：低血圧ショック、呼吸停止、心停止、腎不全など

このような症状の場合は、すぐに適切な処置を行いますが、場合によっては入院による集中治療を要します。(2.5 万人に 1 人：0.004%以下)

また、死亡した例(40 万人に 1 人程度)もあると報告されています。

○遅発性副作用：CT 造影検査後 1 時間から数日の間に軽い頭痛、吐き気、発疹、かゆみ等の症状が現れる事があります。通常は、治療を要せず回復に至ります。

○血管外漏出：静脈からヨード造影剤を注入しますが、注入中に血管外に漏れてしまう場合があります。場合によっては注射針の刺し直しを行う事があります。

ヨード造影剤が血管外に漏出した場合は、その部位に腫れや痛みを伴う事もあります。

漏出したヨード造影剤は、基本的には体内に吸収されるため心配はありませんが、漏出した量や部位によっては、処置が必要な場合があります。

3. ヨード造影剤使用禁忌事項

以下のようなヨード造影剤使用禁忌事項に該当する方は、ヨード造影剤は使用しません。

○ヨード又はヨード造影剤に過敏症の既往歴がある方

○重篤な甲状腺疾患のある方

4. 原則禁忌

以下に該当する方は、ヨード造影剤の副作用の発生頻度が高くなると報告されています。
医師と相談の上、造影検査を受けてください。

- 今までにヨード造影剤使用した後に血圧低下、呼吸困難、著明な蕁麻疹、顔面/咽頭浮腫をおこした事がある方
- 気管支喘息の治療中もしくは既往歴がある方
- 腎臓の機能が悪い方
- 重篤な心疾患がある方
- 重篤な肝疾患がある方
- マクログロブリン血症がある方
- 多発性骨髄腫がある方
- テタニーがある方
- 褐色細胞腫がある方
- 他の薬剤でアレルギーがある方

5. その他注意が必要な場合

以下に該当する方は、造影検査時に注意が必要となりますので、
医師と相談の上、造影検査を受けてください。

- ビグアナイド系高血糖降下剤（糖尿病薬）を内服中の方
薬の種類（メトグルコ、メトホルミン、グリコランなど）や腎臓機能の状態によっては、
造影検査日の前後2日間の休薬が必要です。
- 妊娠中の方
ヨード造影剤使用の有無に関わらず原則検査は行いません。
- 授乳中の方
ヨード造影剤使用後は、24時間授乳を控えるよう勧められています。